

水道局だより

私たちの暮らしの中の水道 vol.8

令和2年3月1日発行
水道局

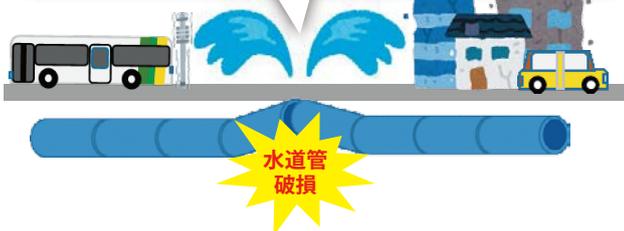
☎237-5811 FAX 237-5819

将来の水道について深く知っていただくために、水道事業の現状・課題・経営状況をシリーズでお伝えしています。今回は、将来やるべき事業とそれに伴う経費、必要となる収入についてお伝えします。

今、そして次の世代の人たちのために

 今を生きる自分たちのため、そして、次の世代の人たちにも水道水を届け続けるには、古く

老朽化した水道管の破損により水が噴出



なった施設を直したり、地震などの災害にも耐えられるようにしたりすることがとても重要だとわかったよね。



これまでの「水道局だより」でも紹介したように、多くのお金を投資して、今まで以上に老朽化した施設の更新や耐震化を進めていかないと、大規模な漏水や、大きな地震で長期間の断水を引き起こすことにつながるんだよ。



人口が減っていくことで料金収入が増えなくなると、貯金が減ったり、借入金が増えたりして水道の経営が厳しくなると聞いたけど、古い施設の更新や耐震化はできるのかな。以前、料金の値上げがいずれ必要だということも聞いたよね。

収入と必要となる経費

 「第2次津市水道事業基本計画」では、令和3年度に28%の料金改定が必要との試算が出ているよ。ここで、料金算定期間*の令和3～7年度の財政収支の見通し(右表)を見てみよう。

※料金算定期間…料金の安定性、期間的な負担の公平性、原価把握の妥当性、経営責任の面などを考慮し、3～5年程度を基準に設定された期間

 必要なお金に対して、不足額がかなりあるね。将来への投資となる更新費用も約148億円と多くあるけど、これは安定供給に欠かせないんだよね。県営水道の受水費も約

107億円と支出の約18%を占めるくらい大きいものなんだね。三重県に対して料金値下げの要望をしていたけど結果はどうなったの？

料金算定期間の財政収支の見通し

